

都市計画法における用途地域に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

市街化区域では、その地域の特性を考慮して用途地域が指定されている。用途地域は、住居系、商業系、に大きく分けられ、13種類に分類される。用途地域が指定されると、その用途地域内に立地できる建築物の用途が制限される。さらに、建築物の形態（率の制限、率の制限、高さの制限など）や構造（防火地域、準防火地域など）も、用途地域に関連して規制されている。ここで、率とは、建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合をいい、率とは、建築物の建築面積の敷地面積に対する割合をいう。

	A	B	C
1. 産業系		建ぺい	容積
2. 産業系		容積	建ぺい
3. 工業系		建ぺい	容積
4. 工業系		容積	建ぺい
5. 風致系		建ぺい	容積

水食の仕組みと因子に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

細流浸食を放置したところ、畑の畝間、くぼみなどに雨水などの流出水が集まり、次第にそこを削って、耕作の支障となる大きな溝に発達する現象を という。

水食は、一般に土地の傾斜が急になるほど、地表流出水の流れる斜面長が ほど、浸食はひどくなる。また、土層の浸透能も水食の程度に影響し、浸透能の小さい土層では、降雨が地中に浸透しにくく、地表流が発生するため、水食が 。

- | | A | B | C |
|---------|---|----|--------|
| 1. 面状浸食 | | 短い | 起こりにくい |
| 2. 面状浸食 | | 短い | 起こりやすい |
| 3. 面状浸食 | | 長い | 起こりにくい |
| 4. ガリ浸食 | | 短い | 起こりにくい |
| 5. ガリ浸食 | | 長い | 起こりやすい |